

魅力ある活動を企画し、サポートを充実させ、若い言語聴覚士の加入を図っています。

高知県言語聴覚士会 会長 西田 香利

高知県言語聴覚士会は、会員数10名足らずであった26年前の高知県言語療法士会を基礎に国家資格の創設に合わせ言語聴覚士会と名称変更し、養成校が1校あることもあり、平成24年度には会員数220名の団体に成長しました。高知県理学療法士会や高知県作業療法士会には会員数は及びませんが、高知県の言語聴覚士が古くから活動していることもあり、3士会が連携できる環境となっており、災害リハビリテーションコーディネーター研修会にも3士会そろって参加できました。高知県の行政にも医師、看護師と共に災害時のリハビリテーション活動を考えてもらえるよう協働して働きかけを行っています。さらには、高知県教育委員会とタイアップし、巡回相談に会員を派遣し、言語聴覚士からのアドバイスは、具体的で参考になるとお褒めをいただいています。

県士会内部の活動では、会員数は増加していますが、活動に参加する会員数が比例して増加していないこともあり、どうすれば若い言語聴覚士が県士会活動に興味を持ってもらえるかが、昨今の課題となっています。そこで、新たな取り組みとして、レストランのソムリエの方からテー

ブルナーやワインについて食事をしながら講習してもらうマナー教室を開催したり、レクリエーションにボウリングをしたりと、講習会や勉強会以外にもコミュニケーションを図れる県士会活動を計画しています。また、高知県も若い言語聴覚士が大半を占める中で、次々に後輩が就職し、気がつけば指導する立場になっている会員もいるため、他の病院や施設の会員と交流する機会も少ない状況もあり、年1回は病院・施設の代表者会議を行い、顔見知りの関係を作り、気軽に聞ける関係作りをサポートしていく活動も行っています。

全国協会の生涯教育のポイント取得講習会や基礎講座、専門講座を開催することにより全国協会や県士会に入会し、会員個人のスキルアップのお手伝いをすることにより入会するメリットを大きくしていきたいと活動しています。ホームページのリニューアルや会員の在り方など、今後の活動課題は山積していますが、12人の理事と共に検討しながら一步一步着実に会員に必要とされる県士会に成長していきたいと思っていますので今後とも高知県言語聴覚士会をよろしく願いいたします。



病院・施設代表者会



テーブルマナー



ボウリング大会



専門講座の様子



研修会



忘年会

高知 KOCHI